

ヒアリング ご協力に感謝!& いよいよ第2期・新展開へ!

各地区の実行委員のみなさん、活動を振り返るヒアリングのご協力、ありがとうございました。第2期ちくせん（地区別定住戦略事業）は、「暮らしを支える活動」をテーマに展開していきます。令和8年1月のつながりミーティング、3月の交流会では、第1期の活動を振り返りながら、第2期の動きも共有していきたいと思ひます。

第2期ちくせん参加予定地区（12月現在）

- 南郷 水清谷、神門下、神門中、鬼神野、渡川
- 西郷 上野原、小川、若宮、上
- 北郷 小原、中原、長野、秋盛、入下

告知 ちくせん交流会

3月8日（日）9:00~12:00
会場：旧田代小学校

各地区の3~4年間の活動成果を分かち合い、地区が元気になるヒントを交換し合える場となります!多くの皆様の参加、お待ちしております!



- ①パネル展示
地区の自慢、ちくせんのある風景など
- ②パネルディスカッション
~ちくせんにおける成功の方程式を共有する~
- ③宮崎大学地域資源創成学部からの成果報告
- ④第2回ちくせんクイズ王決定戦
- ⑤美味しいキッチンカーも来るよ（予定）

ちくせん4コママンガ

さく いまふくとし

11/3（月・祝）黒木区「コスモス交流会」にて



冬イベント

let's enjoy ♪

南郷

- ・レクリエーション大会（神門下：2月中旬）
- ・ひな祭り（鬼神野：3/1）

西郷

- ・イルミネーション（峰：~1月中旬）
- ・新春歩こう会（仮迫：1/1）

北郷

- ・どんど焼き（中原・長野：1/10）
- ・新年祭（入下：2/7）



峰区イルミネーション

告知 ちくせんつながりミーティング

これまでの「ちくせん」の活動成果をみんなであらためます。

- 1月19日（月）19:00~西郷NHC
- 1月20日（火）19:00~南郷多目的研修センター
- 1月21日（水）19:00~北郷図書館

Info

●ちくせん専用ホームページ、ぜひご利用ください!

イベント等のお知らせ、各地区 Instagram との連携も、継続してよろしくお願ひします。



●かわら版夏号の反響が届いています。

- ★黒木区の無人販売所が盛況!コスモス祭りのときも寄ってくれる人が多かったそうです。
- ★水清谷区の無人販売所&レンタルスペースは、地区内でも気にして「いつオープンすると?」と声をかけてくれる人が増えたそうです。今後の活用をお楽しみに!!

ちくせんかわら版は年4回の発行を予定しています。各地区からのお知らせなど、かわら版の情報をお待ちしています

『ちくせん』かわら版

2025冬号

発行：美郷町政策推進室 電話：0982-62-6203 通算14号

令和7年12月発行

深掘りちくせん

第3回テーマ「人口増へのヒントを探る」

ちくせん物件への取り組みや 家族向けのイベントが喜ばれた!

今回は、前回のかかわら版で少しだけ紹介した人口分析結果について深掘りしていきます。令和7年4月の住民基本台帳から人口分析を行いました。全国的に少子化が進む中、美郷町の出生率は1.84（令和6年度全国平均1.15）でした。今回の人口分析で注目される地区として、人口安定化達成の花水流区、4歳以下の増加率1位の水清谷区、そして社会増加率1位の小川区にお話をお聞きました。

24行政区ごとの社会増減率

- （社会増の区）
- 小川区 +8.8%
- 入下区 +6.4%
- 神門中区+5.7%
- 神門下区+3.4%
- 花水流区+2.6%
- 仮迫区 +1.4%
- 上野原区+0.1%



社会増減率 (2020年0~64歳と2025年5~69歳を比較し自然減は除く)	
増加 5%以上	(3)
増加 0~5%	(4)
減少 -5~0%	(5)
減少 -10~-5%	(7)
減少 -10%未満	(5)

※社会増とは、ある地域への転入数が転出数を上回る状態のこと

人口4457人、高齢化率53.4%
(令和6年度全国平均29.3%)

美郷町の人口は、いまどうなっているの?

ちくせんのアドバイザー・藤山浩さん
(持続可能な地域社会総合研究所)

美郷町の出生率は全国的にも高いという結果が出ています。もうひと頑張り100人に付き1人の定住増加を続けていくと、人口安定化が見えてきます。長い目でみると、自然豊かな美郷町のような地域が持続可能性を持っています。ちくせんのような地域の強みを活かした取り組みが大切です。

1 花水流区

人口安定化を達成!!

(ちくせん実行委員長・小松敏規さん)

ちくせん2年目に他地区の「ちくせん物件」への取り組みについて聞いて、刺激を受け、空き家と農地の調査をしました。今年若い人が入ってくれてみんなで歓迎しているところ。ほかに家族でUターンした方もいます。これからも移住者の方の考え方を尊重し、距離感も大切にしたいと考えています。最近では地区内に子どもたちの姿も見られ、嬉しく思っています。



コミュニティセンターで「かかし村の本屋さん」を始めました。立ち寄ってくださいね。

家の眺望・川ビューに感激!

(Iターン移住者・桑村和弥さん、仁友美さん)

(和弥さん) 日向市出身で、夏休みは母の実家のある花水流で過ごしていました。これからの人生を考え、3月に伯父の農園を継ぐため東京から戻ってきました。案内されて即決でした。自宅からの耳川ビューは最高!!来てくれた友人も喜んでます。地域には若者の意見も聞いてくれる雰囲気がありますね。これから観光農園なども考えていて、農園も地域も盛り上げたいです!



(仁友美さん) 夫の移住後、10月に越してきました。免許も取って、山道の運転もがんばっています。元々農業には興味があり、美郷町の自然の豊かさを日々感じています。ヨガ・ストレッチインストラクターの資格を活かして新たな挑戦も考えています。

小川区、水清谷区は、中面をチェック



黒木 洋子 さん
南郷渡川区
渡川ひえちぎり踊り保存会
会長

渡川区出身。高校卒業と同時に渡川を離れ、就職で関東方面へ。その後20代のうちに帰郷し、現在は高齢者福祉施設で働いています。趣味はつまみ細工、絵手紙、布草履づくりなど、気が向けば作品をつくり、販売もしています。

Q1 現在、どのような活動をしていますか？

「渡川ひえちぎり踊り保存会」に所属し、毎年開催される「ひえちぎり唄全国大会」でアトラクションとして踊りを披露しています。ほかに、渡川神社の例大祭で踊ったり、デイサービスや敬老会などでもお声がかかれば踊っています。そのほか、子ども達に「浦安の舞」の指導もしています。私は、元々は踊りが好きというよりは、伝統を継承しなければという思いで会長を務めています。



保存会のメンバー

ひえちぎり踊り保存会
平成14年9月に設立。当時は34名のメンバーでスタート。現在は30代から80代の16名の会員で活動しています。

Q2 ひえちぎり保存会に入ったきっかけは？

子ども達が民謡を習っていて、毎年行われる「百歳の里ひえちぎり唄全国大会」に出場していました。そこに着付けの手伝いなどで付き添って行っているうちに、自然な流れで入っていました。当時は、子ども達も一緒に踊っていました。

3 水清谷区

子育て世代が移住！
4歳以下の増加率トップ

(ちくせん実行委員 林田未来さん)

地区出身者のUターンが重なった結果ですが、春はこいのぼりが飾られ、「久しぶりの光景だね」と喜ぶ声が聞かれるようになりました。ちくせんでは親子で来られるイベントも行っていたので、実行委員に誘うきっかけになり、移住したご夫婦がメンバーに入ってくれたのも嬉しかったですね。「水清谷神社」には子どもの守護神・子授け・安産の神として親しまれる神様が祀られています。また先人が安産祈願として守り継いできた「観音滝」もあります。子どもにゆかりのある場所ということも発信して、親子で訪れたい地域になれるといいと思います。

Q3 やってよかったことはありますか？

デイサービスの敬老会で、踊ってほしいというお声がかかり、普段はかすりの着物で踊るのですが、着替えが難しかったのでモンペで踊ったことがあります。それを見てくださった方が、モンペもよかったよ！と喜んでくれて、そんな時によかったなと感じます。会員それぞれが、声がかかったらアチコチで踊っていて、特に渡川出身の方がいらっしゃるところで踊ると、懐かしいと喜んでもらえるのが嬉しいですね。会員のみなで練習したりおしゃべりしたり、楽しく活動しています。



モンペで踊ったひえちぎり踊り

Q4 これからのこと

昔は、子どもも大人も一緒になって踊っていました。子どもの頃踊っていたという子たちがUターンで帰ってきて、保存会の会員になってくれました。若い世代がつながって活動してくれるのはとても嬉しいです。ただ、最近では「一緒に踊ってみらんね！」と子どもたちへ声かけするのですが、なかなか忙しいようで、踊ってくれる子が少なく、活動も存続ができるか頭を悩ませています。ここで育った子ども達が、こんな踊りがあったよね！と思い出してくれるといいなと思っています。そのためにも、来年の祭りでは早めに練習して子ども達とも踊りたいと思っています。また、町内外問わず、県外でも要請があればどこへも踊りに行きたいとも思っています。是非、お声かけください♪

ちくせん実行委員にも参加

(戸澤正法さん、実咲さん、薙音君、翠君)

(お話は実咲さん)

宮崎市出身で夫が実家の林業を継ぐということで移住しました。林業大学が町内にあるのはいい環境でした。移住してすぐに「ちくせん」で声を掛けてもらって、夫婦で参加しています。誘ってもらってよかったです。つかみどり大会は親子で参加しました。夫は委員の活動にもどっぷり。飲み会も楽しそうです。子ども用品の買い物は日向市に出るなど、子育てで大変な部分もありますが、「大事な息抜きの時間」とドライブ時間を楽しんでいます。地区内に同世代の方が増えると嬉しいです。



ちくせんで繋がる人にスポットをあて、各地区での活躍を紹介します



長友ヨシ子 さん
西郷峰区在住

生まれも育ちも西郷。一時、名古屋市で働いた後、夫と共に帰郷した。本が好きで「町にいい図書館があるのがうれしい」と話す。

Q1 ちくせん活動に参加したきっかけは？

虹カフェに参加したのが最初です。たしか町報でお知らせがあったのかな？百歳の一人暮らしの方を誘って、一緒に行きました。すごく楽しくて。地元の人と、お茶やコーヒーを呼ばれながら、おいしいお菓子をいただきながら話をするのは楽しいですね。「ちくせん」は、最初はなんだろうと思って、耳慣れない言葉でした。実行委員さんががんばっているのを見てくださっているなあと感じていました。虹カフェという集まる場ができたのがうれしかったです。百歳の方もお話好きだから、「次はいつかな？」っていつも楽しみにしています。



虹カフェは大切な楽しみ場

2 小川区

社会増加率トップ！

(小川区長・ちくせん実行委員 奈須博さん)

小川は50代～60代を中心に入超ということで、3年前に帰ってきた自分もその中に入っています。ほかにもUターンの方がいましたが、「社会増率トップ」という結果には少し驚いています。以前から取り上げられていますが、小川区は59世帯全員がちくせん実行委員会の部員となっていて、行事も地区全員で参加するなど少人数の分、つながりが強い地区です。農業をはじめいろんな業種の方がいて、アイデアを出し合って実現する力があり、何でも意見を出し合える雰囲気よかったのではないかなあと感じます。

Q2 毎年、みんなでイルミネーションの飾りつけをするそうですね。

旧田代小学校の校庭の木にイルミネーションを取り付ける手伝いをしています。綱を引っ張って飾りつけます。みんなでできるのがいいですね。ほかに、春はこいのぼりの設置、花壇の植栽にも参加しました。自分たちで世話をした風景は、さらによく見えますよ。イルミネーションは高台にあるので、いろんな場所から見てほしいですね。



イルミネーションの準備もがんばりました。

Q3 ここで暮らし続けるために、これができたらいいなと思うことは？

買い物は特に困っていませんが、専門医にかかる必要があるときは自分で運転して日向市に出かけています。免許証を返納したらバスの本数が少ないので大変になるだろうと感じています。バス利用券交付などの対応があると聞いていますが、交通の便がよくなると安心して住み続けられるだろうと思います。

Q4 峰でお気に入りの風景は？

自宅から権現山が真ん前に見えるんです。毎朝、眺めています。夏から今頃にかけて、山に朝もやがかかっているのがきれいで。好きな季節の風景ですね。

Q5 いま、楽しいことは？

家庭菜園で野菜を作って、宮崎市の娘のところに送るのが楽しみです。時々、顔を出してくれるので、煮しめやちらし寿司を作って持たせるんですよ。息子は東京にいて、帰省したときはやっぱり煮しめを作ります。読書も好きで、百歳体操のときに移動図書館が来てくれるのが楽しみです。夫も以前は時代小説などを読んでいたのですが、最近は私が借りる小説を読むようになりました。

深掘りちくせん「人口増へのヒントを探る!」つづき

つながりの強さが奏功

(奈須さん)

3年前に実家に戻りました。盆正月や行事には帰ってきていて、1月2日に行われる歩こう会にも参加していました。つながりはずっとありましたね。小川のいいところは、得意な面を見つけ合って、それができるところで区を良くしようという雰囲気。今年度は小川川セーフティランドの親水公園も整備され、ここを活かした交流ができると、また楽しみだと思います。



11月9日に開催された餅つき大会。恒例行事になりました。